

市長定例会見

2026年5月14日

神戸市歴史公文書館の開館
～ 市民の知的資源を未来へつなぐ ～

○ 公文書は、市の諸活動や計画などを記録した市民共有の知的資源

[公文書の役割]

- ・ 政策に関する意思決定プロセスについて市民へ説明責任を果たす
- ・ 今までの市政を検証し、適正かつ効率的な市政運営に繋げる

歴史的価値があり後世に残すべき重要な公文書

適切に保存・管理し、市民が利用できる環境の整備が必要

歴史公文書館が開館（2026年6月1日）

概要

月1回程度の土曜日の特別開館を予定

開館時間 | 平日 9:00 ~ 17:00

入館料 | 無料

機能

- ・ 歴史的に重要な公文書などの保存、公開
- ・ 所蔵資料に関する調査研究
- ・ 神戸市の歴史を伝える展示や講座の開催

建物・構造

本館（新築）： 収蔵庫・閲覧室・事務室、別館（改修）： 展示室・書庫・事務室

➡ 国の登録有形文化財「旧岡方倶楽部（1927年建設）」を別館として公開



本館（左）、別館（右）

適切な環境における資料の保存（本館）

[収蔵庫・貴重書庫]

資料の保存に適した温湿度管理

○ 開館時点の主な保存文書等：約20万点

昭和30年以前の公文書 | 約4,000冊
(神戸市長事務引継書、市会会議録など)

戦災関連資料 | 約800点

阪神・淡路大震災関連文書 | 約13,000冊

写真・写真データ | 約123,000点

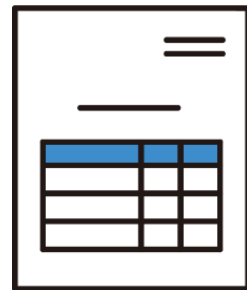
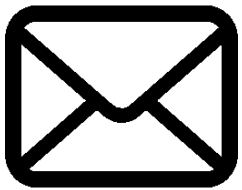
地図・絵葉書など | 約3,500点



収蔵庫



資料検索システムで目録から検索



- ・ 利用請求書をメール等で提出
- ・ 利用決定等の通知書を受領



- ・ 利用決定等通知を持参
- ・ 1階閲覧室にて資料を閲覧
(または写しの交付)

神戸の歴史の展示 (別館)

[展示室 1・2]



[展示室 3]



- ・ 神戸市成立から現在までを振り返る壁面展示
- ・ 歴史的に重要な公文書の複製をケース展示
- ・ 昭和期の市政映像をデジタルサイネージで上映
- ・ 神戸市史編纂や歴史公文書館などの紹介
- ・ 旧岡方倶楽部の100年を振り返る展示
- ・ 開館記念展示「兵庫津遺跡第97次調査」

資料を活用したホームページの開設

BE KOBE

デジタル展示「資料から知る神戸」(2026年4月1日～)

- 近代以降の神戸の歴史を年表で紹介
 - 市域の変遷を地図や資料で解説
(くずし字の読み下し文も掲載)
 - 「神戸の名所・名勝」などの写真や資料を掲載
 - 日替わりクイズで資料や神戸市の豆知識を紹介
- ▶ パソコンやスマートフォンで閲覧できます



開館に先行して市民内覧会を開催

BE KOBE

概要

日時 | 2026年5月30日(土曜)
(3回制 ①9:45～、②10:30～、③11:15～)

定員 | 計45人(各回15人)

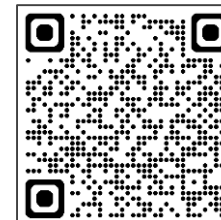
料金 | 無料

普段入室できない収蔵庫も見学可能

内容 | ツアー方式で閲覧室などを見学

参加申込

5月15日(金)より「おでかけKOBE」にて申込受付を開始





市民共有の知的資源を後世に伝えるとともに
未来に向けたまちづくりにつなげていきます